

第1回グローバルヘルス政策研究センターセミナー 開催報告

2017年1月24日、iGHPと国際医療協力局の共同で「第1回グローバルヘルス政策研究センターセミナー」が開催されました。

渋谷健司 iGHP センター長による、iGHP を取り巻く現代社会の状況とその活動方針に関する講演を実施。私たちが生きるこの時代、保健医療は単一化された”制度”から多くの物事や秩序を立てた”社会システム”へと移行しつつあります。渋谷センター長には、2035年までに「健康先進国」を目指すわが国にとっても、グローバルヘルスは持続可能な世界平和の進展に必要な不可欠な分野であり、社会全体でとらえていくべき重大なファクターと発表いただきました。グローバルヘルスが日本のみならず世界を救う理由として4つの理由が挙げられるという渋谷センター長からは、1：国益（開発のみならず外交安全保障・マクロ経済戦略の基盤）、2：多くの人々が社会開発・経済成長の恩恵を受けることができる UHC の発展の実現、3：国内医療体制・既成の再検討の実施、4：途上国からのリバース・イノベーションの活性化について解説いただきました。

「グローバルヘルスは医療の将来」ともいわれています。iGHP では、保健医療の「システム化」と「グローバル化」に対応するため、グローバルヘルス政策に資する日本を代表するシンクタンクとして保健医療分野の世界的リーダーを目指します。

